年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科

国語 科目 現代の国語

教科: 国語 科目: 現代の国語
 対象学年組: 第 1 学年 1 組~ 3 組
 教科担当者: (1 組: 三好) (2 組: 三好) (3 組: 三好)
 使用教科書: (現代の国語(筑摩書房))
 教科 国語

単位数: 2 単位

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		話・	書 読						
1 学 期	a 単元 要点を捉える 【知識及び技能】 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、積極的に要旨や要点を把握しようとしている。	・指導事項 段落毎の要点のとらえ方について理解し、要点をまとめ、要約を發表する。 ・教材 ・ことばとは何か、デジタルと社会等 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、積極的に要旨や要点を把握しようとしている。	○	○	○	3
	b 単元 表現の工夫を考える 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方接続の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、積極的に要旨や要点を把握しようとしている。	・指導事項 文章の構造に注意し、具体と抽象、対比を意識して読むこと。 ・教材 ・水の東西ことばがつくる女と男 ・身体、この遠きもの ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Wordを用いて構造を意識した小論文を作成			【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方接続の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、積極的に要旨や要点を把握しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1
	c 単元 よりよい結論を出すために話し合う 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、粘り強く表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	・指導事項 論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。 ・教材 ・誰かの靴を履いてみること ・(私)時代の学生クワッシャー ・一人1台端末の活用 等 ・端末を使った調べ学習、話し合いの撮影	○		【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、粘り強く表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	○	○	○	12
2 学 期	d 単元 文章の論理について考える 【知識及び技能】 推論の仕方を理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方考えをもち、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫しようとしている。	・指導事項 論理的な文章を読み、筆者の論の立て方を把握し、自身の文章に活用すること。 ・教材 ・魔術化する科学技術 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 推論の仕方を理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫するとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫しようとしている。	○	○	○	5
	e 単元 文章の論理について考える 【知識及び技能】 推論の仕方理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に推論の仕方理解し、使おうとしている。	・指導事項 統計資料をもとに文章を書き、資料を用いながら説明すること。 ・教材 ・ポスト真実時代のジャーナリズム ・一人1台端末の活用 等 ・プレゼン動画視聴	○		【知識及び技能】 推論の仕方理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫するとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に推論の仕方理解し、使おうとしている。	○	○	○	13
	定期考査				○	○		1	
	f 単元 文章を比較して読む 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすること。自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	・指導事項 複数の文章を比較し、共通点や相違点を捉えるとともに、情報の適否を吟味すること。 ・教材 ・空気を読む、個人から分へ ・一人1台端末の活用 等 ・調べ学習	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすること。自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	g 単元 論理的に説明しよう 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている。	・指導事項 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を工夫すること。 ・教材 ・賛否の条件 ・来るべき民主主義 ・一人1台端末の活用 等 ・調べ学習・録音	○		【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	7
	h 単元 情報を吟味する 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすること。自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、自分の考えを深めようとしている。	・指導事項 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 ・教材 ・開かれた文化 ・リスクと近代社会 ・一人1台端末の活用 等 ・調べ学習	○		【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすること。自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	i 単元 主張と根拠の関係を考える 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫するとともに、表現の仕方を積極的に工夫しようとしている。	・指導事項 引用をしながら、自身の考えについて根拠の明確なレポートを作成すること。 ・教材 ・現代の国語、言語文化の教科書等 ・一人1台端末の活用 等 ・調べ学習・レポートの作成	○		【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫するとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫しようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○		1		
								合計	70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科

国語 科目 言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 3 組

教科担当者: (1組: 辻井) (2組: 辻井) (3組: 辻井) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (言語文化(筑摩書房))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉をもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を広げたり深めたりすることができるようにする。	古典作品、文学的作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉をもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		読	書					
A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解すること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文、漢文を正確に読む。 古文文法(歴史的仮名遣い・用言) 漢文訓読の基本(訓点・変読文字) 小説(心情をつかむ) 教材 徳田秋声(宇治拾遺物語) 芥川(伊勢物語) 推蔵(唐詩紀事) 瀧夫之利(戦国策) 酒生門(芥川龍之介) ・一人1台端末の利用 等	○	○	A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	10
B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解すること。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法(用言・助動詞・係り結び) 漢文の訓読と書き下し文、解釈 随筆(筆者の心情をつかむ) 教材 東下(伊勢物語) 筒井筒(伊勢物語) 雑説(韓愈 唐宋八家文読本) 夢十夜(夏目漱石) ・一人1台端末の活用 等	○	○	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解することができた。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法(助動詞・助詞) 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法(受身形・假定形・抑揚形等) 随筆(筆者の考えを読み取る) 教材 門出(十佐日記) 「むぎをしのぶ」(土佐日記) 病景(土佐日記) 管絃之交(十八史略) 「なぜ日本語で書くのか」(リード英雄) ・一人1台端末の活用 等	○	○	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の理解を深めることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
D 単元 【知識及び技能】 ・時代の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法(受身形・假定形・抑揚形等) 随筆(筆者の考えを読み取る) 教材 物語の声を求めて(津島佑子) 木曾の最期(平家物語) 刺客前阿(十八史略) ・一人1台端末の活用 等	○	○	D 単元 【知識及び技能】 ・時代の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができた。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	14
E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を構成、展開などについて叙述を基に正確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 逐語訳と解釈 歌謡(種類と敬意の対象) 随筆(筆者の考えの読み取り) 句法(詠嘆形・願望形) 諸子百家思想の理解 教材 かぐや姫の昇天(竹取物語) 朝三暮四(莊子・齊物語) 失われた両腕(清岡卓行) ・一人1台端末の活用 等	○	○	E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を構成、展開などについて叙述を基に正確に捉えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	17

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

国語 科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ (2組：神 尚子) 3 組 (3組：神 尚子) (組：)
 教科担当者： (1組：山村) (2組：神 尚子) (3組：神 尚子) (組：)
 使用教科書： (精選 古典探究 (大修館書店)) (組：)

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		国語	書誌						
1 学期	A 単元 説話文学を通して、話の面白さを味わう。 【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。【(1)キ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。	・指導事項 歌物語の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 伊勢物語、蜻蛉日記			【知識・技能】 ・和歌の修辞を理解し、読み手の心情を理解している。 ・和歌や歌の詠答などの文化を理解し、心情理解に役立てている。 【思考力・判断力・表現力】 ・物語と説話の構造の違いをふまえて、話の展開を的確にとらえている。 ○ 歌物語と作り物語の文体の違いを比較している。 ・平安時代前期の文学について全体像をつかもうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。				8
	B 単元 現代に繋がる漢文 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	・指導事項 本文全体を正確に理解した上で、寓意をつかむ。 ・教材 桃花源記、古体詩、史記 桃花源記、古体詩、史記			【知識・技能】 ・故事成語の成り立ちと日本で用いられてきた文化的背景について、身近な例を挙げながら考えている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを適切に用いることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・本文全体を正確に理解し、込められた寓意について自らの考えを深めている。 ○ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意図的に取り組み、読書をおとして幅広く深い教養を醸成しようとしている。				6
	定期考査								1
2 学期	C 単元 兼好と宣長の考えを比較する 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・兼好とそれを批判する宣長の主張を整理し、自分の考えを深めようとしている。	・指導事項 作品を批判的に読み、筆者の主張を評価する。 ・教材 平家物語、建礼門院右京大夫集			【知識・技能】 ・作者が好ましいと考えるものについて、理由も含めて的確にとらえている。 ○ 批判をおとして主張を述べるという文章の展開のしかたを十分理解している。 ・古典に親しみ、考えを豊かにする意識を十分理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ○ 話の構成を理解し、随筆文学の特質について説明している。 ・建礼門院右京大夫集と読み比べ、共通点や相違点の確かな多面的にまとめたり、発表したりしている。 ・上記の活動をとおして、自分の考え方を深め、豊かにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先人の主張に興味をもち、積極的に読み比べに取り組み、自分の考えを深めようとしている。				8
	D 単元 源氏物語とその影響 【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	・指導事項 源氏物語の基本事項を理解した上で、登場人物の心情について考える。 ・教材 源氏物語、源氏物語玉の小櫛			【知識・技能】 ○ 当時の女性貴族における、仏教の影響の大きさを説明できる。 ・物語の語り手の存在を踏まえて文章を読むことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ・源氏物語を読むことができた感動を理解し、自分の体験に引きつけて説明している。 ○ 作者の夢が持つ意味を、当時の仏教観をふまえて説明している。 ・桐壺、藤壺、若紫と光源氏との関係を、光源氏の心情に注意しながら説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・当時の婚姻制度や身分社会をふまえて		1		11
	定期考査								1
3 学期	E 単元 和歌と漢詩 【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本歌や本説などにも興味をもち、和歌だけでなく当時の歌人や貴族の教養について理解しようとしている。	・指導事項 詩歌の表現技法とその効果について理解を深め、日本や中国のさまざまな詩歌を解釈する。 ・教材 唐詩、枕草子、無名抄 一人1台端末の活用 等 課題提出			【知識・技能】 ○ 歌の特徴、文学史的な位置づけや、その意義について理解し、説明している。 ・五言絶句、七言絶句の形式や修辞法などを正確に理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ○ 修辞法などを的確に理解し、現代語訳している。 ・歌やその作者についての歴史的背景が、歌の内容にどのように影響しているか説明している。 ・詩人の思いを語句や比喩などから正確に理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意図的に取り組み、教材以外の古典常識				15
	F 単元 思想と人々 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【(2)ア】 ・古典の文に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、内容を解釈している。【(1)イ】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、内容を解釈を深めている。【(1)エ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもち、そこに表れたものの考え方について理解し、学習したことを他の文章の読解に活かそうとしている。	・指導事項 文章に表れる思想を理解し、他の文章の読解にいかす。 ・教材 孟子、荘子、大鏡			【知識・技能】 ○ 作品の特徴やその背景を正確に理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・本文の構成や展開を正確に理解している。 ・中国の古代思想の概略を把握しようとしている。 ・登場人物の関係性や境遇を正しく説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文で学んだ思想を他の文章に当てはめて読解しようとしている。				17
	定期考査								1
合計 70									

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

国語 科目 理系古典

教科：国語 科目：理系古典 理系古典 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～ 3組
 教科担当者：（1組：神）（2組：神）（3組：神）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（精選 古典探究（大修館書店））

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	理系古典	目的：		
		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

単元	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			語	書						
1 学 期	A 単元 入試問題古文 【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・古典を読むこととおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをとらえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。【(1)キ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書活動に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取るようにしている。	・指導事項 様々な古典の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 入試教材			【知識・技能】 ・和歌の修辭を理解し、詠み手の心情を理解している。 ・歌合や歌の贈答などの文化を理解し、心情理解に役立てている。 【思考力・判断力・表現力】 ・ジャンルによって文章の構造の違いをふまえ、話の展開を的確にとらえている。 ○ 時代による文体の違いを比較している。					6
	B 単元 入試問題漢文 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとし	・指導事項 様々な古典の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 入試教材			【知識・技能】 ・漢文思想の文化的背景について考えている。 ・古典を読むために必要な漢語のきまりや訓詁のきまり、古典特有の表現などを適切に用いることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・本文全体を正確に理解し、込められた寓意について自らの考えを深めている。 ○ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意欲的に取り組み、読書をおとて幅広く深い教養を醸成しようとしている。					6
	定期考査									1
2 学 期	C 単元 入試問題古文漢文 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について詳細にしている。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・兼好とそれを批判する宣長の主張を整理し、自分の考えを深めようとしてい	・指導事項 様々な古典の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 入試教材			【知識・技能】 ・作者が好ましいと考えるものについて、理由も含めて的確にとらえている。 ・批判をおとて主張を述べるとい文章の展開のしかたを十分理解している。 ・古典に親しみ、考えを豊かにする意義を十分理解している。 ○ 【思考力・判断力・表現力】 ・話の構成を理解し、随筆文学の特徴について説明している。 ・筆者の意図を十分にたらえてその主張を読み比べ、共通点や相違点を的確かつ多面的にまとめたり、発表したりしている。 ・上記の活動をとおして、自分の考え方を深め、豊かにし					10
	D 単元 共通テスト問題 古文漢文 【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	・指導事項 様々な古典の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 入試教材			【知識・技能】 ・古文における、仏教の影響の大きさを説明できる。 ・物語の語り手の存在を踏まえ文章を読むことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ・古文を読むことができた感動を理解し、説明している。 ・漢文における夢等が持つ意味を、当時の思想をふまえて説明している。 ○ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・当時の身分社会をふまえ、登場人物が置かれた境遇について理解した上で、それぞれの登場人物について説明しようとしている。					14
	定期考査									1
2 学 期	E 単元 共通テスト問題 古文漢文 【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について詳細にしている。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本歌や本説などにも興味をもち、和歌だけでなく当時の歌人や貴族の教養について理解しようとしている。	・指導事項 様々な古典の構造を踏まえて、文章を読み、内容を理解する。 ・教材 入試教材			【知識・技能】 ・歌の特徴、文学史的な位置づけや、その意義について理解し、説明している。 ・五言絶句、七言絶句の形式や修辭法などを正確に理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・修辭法などを的確に理解し、現代語訳している。 ○ 歌やその作者についての歴史的背景が、歌の内容にどのように影響しているかを説明している。 ・当人の思いを語句や比喩などから正確に理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味をもって意欲的に取り組み、教材以外の古典常識や古典作品についても積極的に調べようとしている。					12
	定期考査									1
個別指導										
									合計	52